

地域自然情報ネットワーク 第 17 期事業報告書

2019 年 7 月 1 日から 2020 年 6 月 30 日まで

1. 自然環境の調査解析にかかわる技術の企画・開発および評価事業

-

2. 自然環境情報の整備・公開事業

- **津市波瀬太陽発電所造成事業に係る環境影響評価事業**

津市波瀬太陽光発電所造成事業に係る環境影響評価の地形・地質調査および解析の一部を請負実施し報告書を取りまとめた。

- **生態系減災(Eco-DRR)LP 解析**

高知県の海岸林および避難山の LIDAR データによる樹林解析。Eco-DRR を目的とする。

- **WWF 九州図面作成**

WWF からの依頼により、プロジェクトに必要な地図情報の可視化およびグラフィック処理を行った。

3. 自然環境保全等にかかわる人材育成・啓蒙活動事業

- **東京環境工科学園での人材育成**

東京環境工科学園学生を対象に、自然環境分野への GIS 基本講座を選択授業のひとつとして行う。導入編は授業カリキュラムの中での選択項目として組み込まれる。ArcGIS のバージョンは 10.2 を使用した。

- **地域自然情報研究会およびジオエコツアーの開催**

➤ 2019 年 8 月 31 日

生態系減災と地域循環共生圏」について。

一ノ瀬友博 氏（慶應義塾大学環境情報学部教授）

➤ 2019 年 9 月 7 日

東京都あきる野市、福生市において、第二回ジオエコツアー「あきる野・福生の自然と文化を読み解く」を開催した。9 月 7 日（土）。二宮神社、秋川の霞堤跡、雨武士神社のモミ・ツガ林、多摩川河原の植生と地形、熊川分水と自然石墓標など、西多摩の自然の成り立ちと人の営みを多面的に感じられるツアーを開催した。

➤ 2019 年 10 月 3 日

『ドローンを社会の力に～その役立て方を考えたい～』

山田 和宏 氏（株式会社 NTT ドコモ イノベーション統括部 事業創出・投資担当部長）

- **「野生生物と社会」学会への協力**

前年度より継続して、「野生生物と社会」学会の行政研究部会の事務局を置いた。

- **NPO 法人野生生物調査協会**

協力関係を継続した。

4. 自然環境保全にかかわる活動支援事業

- **西武・狭山丘陵パートナーズ指定管理業務**

東京都建設局の都立公園指定管理者である西武狭山丘陵パートナーズの構成員として、「都立公園狭山丘陵グループ」に参加した。

- **国立科学博物館セミナーGIS 開催**

導入メリット、データの入手先などを紹介した上、GIS でできることの概要と簡単な解析デモを QGIS を用いて行った。また、あわせて、生物分布図連続自動出力するための GIS ツールを作成した。

- **群馬県立自然史博物館 GIS セミナー開催**

GIS の基本的な事項やできることなどを紹介した上で、QGIS のインストール、基本的な使い方、簡単な解析などについて、参加者各自のノートパソコンを用いた講習を行った。

- **皇居外苑ありかた検討業務支援**

環境省の有識者懇談会向けの資料作成の一部を請負実施した。

- **阿蘇草原再生協議会**

前期に引き続き、構成員として協議会本会・生物多様性小委員会に出席参画した。

- **上サロベツ自然再生協議会**

引き続き構成員として、再生技術部会および再生普及部会に参画した。

5. その他の事業

- **メーリングリスト・ホームページの維持管理**

ホームページ等による広報を行う。

ブログを使用してわかりやすい活動報告をのせる。

広報を会員への情報提供の重要な手段と考え、その改善につとめる。あわせてメーリングリストの管理を行う。メーリングリストは入退会に応じて随時管理する。

ホームページにあわせて Facebook による広報を行った。